

浜通りにおける「ふくひびき」の乾田直播栽培で 700kg/10a を確保するための生育の目安

福島県農業総合センター 浜地域研究所

1 部門名

水稻－水稻－水稻直播

2 担当者名

佐藤弘一、吉川学、大野光

3 要旨

担い手への農地集積が急速に進んでいる浜通りでは、乾田直播栽培導入による作期拡大は経営規模拡大に有効である。そこで、飼料用米「ふくひびき」の目標収量（粗玄米重）を700 kg/10a とした場合の生育の目安を示す。

- (1) 3月下旬から4月中旬播種で、基肥窒素量を肥効調節型肥料（商品名：LPコート70）で12 kg/10a 施用し、1 m²当たり苗立ち数を80本以上とした（表1）。
- (2) 収量（粗玄米重）700 kg/10a を確保するための生育の目安は、1 m²当たり籾数を33,000粒、1 m²当たり穂数を420本とする（表2）。

表1 「ふくひびき」乾田直播栽培の生育状況

年度	播種時期 (月/日)	苗立ち数 (本/m ²)	7月上旬生育		出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	成熟期		
			茎数 (本/m ²)	葉色 (SPAD値)			穂数 (本/m ²)	籾数 (100粒/m ²)	粗玄米重 (kg/10a)
2022	4/13	80	498	40.4	8/9	9/26	381	396	807
2023	3/22	186	524	35.2	7/23	8/28	417	339	764
	4/4	201	660	35.8	7/23	8/30	499	375	799

注) 播種量:8kg/10a設定、7月上旬生育の調査日 2022年:7/4、2023年:7/5

注) 粗玄米重:水分15%換算値

表2 「ふくひびき」乾田直播栽培の生育目安

時期	項目	生育目安
	窒素施肥量 (kg/10a)	肥効調節型肥料 12 (商品名:LPコート70)
	苗立ち数 (本/m ²)	80以上
7月上旬 (7/5)	茎数 (本/m ²) × 葉色 (SPAD502値)	19,450
	茎数 (本/m ²)	550
	葉色 (SPAD502値)	35以上
成熟期	穂数 (本/m ²)	420
	籾数 (粒/m ²)	33,000

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 広域エリアを対象とした大規模水田営農における生産基盤技術の確立〔農林水産分野の先端技術展開事業 (JPJ009997)〕

5 主な参考文献・資料

なし